



平成ノ大造営

時満ちて  
道ひらく

# 平成二十八年熊本地震を受けて

今回の熊本地震によって被害を受けた皆さまに対して、心からお見舞い申し上げます。  
四月十四日午後九時二十六分、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード六・五、最大震度七の地震が発生。さらにその二十八時間後の十六日午前一時二十五分には、同じく熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード七・三の地震が発生し、この地震でも最大震度七が観測された。

当地宗像でもこの地震により震度四の揺れを観測したが、沖津宮・中津宮・辺津宮とも異状は無く、被害はなかった。

十六日の地震後には福岡県神社庁から震災支援の要請があり、支援物資を調達。十八日、二十日の両日、物資運搬のため神職数名を現地へ派遣した。刻一刻と変る被災地の状況のため、今後どのような支援要請が出てくるかは不透明であるが、一刻も早く復旧し平素の生活に戻るよう、支援を継続していく。

また、この地震では、当社内の災害対応について認識の甘さを感じさせられた。早速、当直体制時のマニュアル、職員の安否確認等の災害対応について協議を諮り、各人、危機管理対応の重大さを再確認。直ちに再整備に取り掛かった。

時に牙を剥く自然。自然の驚異をまざまざと見せつけられた熊本地震。無かった事には出来ない。一人一人がどうとらえるのか、何をしなければならぬのか、何が出来るのか、行動し、復興へ向かわねばならない。

被災されました方々の一日も早いご復興をお祈り申し上げます。

この度の熊本地震で被災されました方々に衷心より  
お見舞い申し上げますとともに、  
一日も早いご復興をお祈り申し上げます。

宗像大社

神具・装束・授与品



装束店  
〒600-8503 京都市下京区油小路通六条上る  
フリーダイヤル 0120-075-980

授与品店  
〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町23  
フリーダイヤル 0120-075-820

木組の家 匠の技

総合建築業 株式会社 弘江組

〒811-3406 福岡県宗像市稲元4丁目20 電話(0940)32-2567

第54回

# 若布献上

## 玄海灘の天然若布を皇室に献上

四月十三日、早春の玄界灘の天然初物若布を賢所、天皇皇后両陛下、皇太子同妃両殿下、三笠宮殿下へ、葦津宮司、廣渡均氏(宗像漁業協同組合福岡支所)、永島

孝人氏(宗像漁業協同組合津屋崎支所)、随行神職の四名が宮中へ参内し、恙無く献上申し上げた。

この皇室への若布献上は、昭和三十八年の「宗像大社海洋神事奉賛会」設立に際し、宗像大神の御神徳が、国家・皇室の守護であることから、皇室の御安泰と聖寿

業協同組合福岡支所)、永島

昭和三十八年の「宗像大社海洋神事奉賛

祭」と並び、同会の一大行事である。

海洋神事奉賛

例年三月一日よ

会」設立に際し、宗像大神の御神徳が、国家・皇室の守護である

り地島沖にて若布の採取が開始されるが今年には寒暖の差の影響により、生育が遅れ三月十日より採取を行った。状況が悪く地島漁協の方々も大変苦勞されたが、

ながら規定の量を袋に納め、献上の準備が進められた。

室の守護であることから、皇室の御安泰と聖寿

た。状況が悪く地島漁協の方々も大変苦勞されたが、

献上前日の十二日午前九時五十分、本殿にて若布献上奉告祭を斎行し、杉箱に納められた若布を持ち出社した。福岡空港では献上者をはじめ、例年若布を運んでいただく全日本空輸株式会社の皆様が参列し、当社巫女より全日空



福岡空港での出発式 客室乗務員に手渡される若布



若布と併せて搭乗される方々へ、記念品を贈呈

歴史ある献上若布を何とか宮中へお届けしようとする御尽力され、濃緑で磯の香りの強い良質な若布が採取された。伝統的な技法で奉製された板状の乾燥若布が、三月二十三日に当社に納められ、神職・巫女が形を整え

献上奉告祭を斎行し、杉箱に納められた若布を持ち出社した。福岡空港では献上者をはじめ、例年若布を運んでいただく全日本空輸株式会社の皆様が参列し、当社巫女より全日空



本年の献上者、随行者 (奥4名)

## 余の滴

年間十六日ある我が国の祝祭日、その多くが春の大型連休に集中します。なかでも五月五日は「端午の節句」。端は「はじめ」、五月は十二支で午の月、つまり「午の月のはじめの午の日」の意で、のちに「午」を「五」とし五月五日となりました▼奈良時代、宮中の行事としてこの日に蓬や菖蒲などで厄払いが行われ、武士の時代に「菖蒲」と「尚武」をかけて武を尊ぶ節目として祝うようになりました。現在、鎧や兜を飾るのはそのためです▼江戸時代には身分を越えて男子の成長や立身出世を祝う行事として一般にも広がり、「鯉のぼり」もその生命力の強さにあやかり町人文化のなかで生まれました▼出生率の低さが先進国のなかでも最も高い水準の日本。地方でも核家族化が進み、三世代が一つの家で暮らす大家族を目にしなくなりました。社会構造含め様々な要因があるのですが、大型連休最終日はご家族ご一族で、子供たち孫たちの成長を祈りましょう▼どんな方にも人生の上で記念すべき大切な日があるように、国・社会にも永く銘記すべき日があります。「国民の祝日」それぞれが持つ意味をあらためて考えながら国旗を掲げることが、少子高齢化対策の第一歩に繋がるのかもしれない。(幹)



献上奉告祭を終え、出発する一行



した出光興産株式会社、全日本空輸株式会社をはじめ、関係各位には紙面をもちまして厚く御礼申し上げます。

客室乗務員への手渡し式が行われ、若布は機内へ運ばれた。また、この便に搭乗する方々には、当社より記念品として干支の縁起物が手渡された。  
献上当日の十三日午前十時、坂下門より宮中へ参内。掌典長楠本祐一氏に葦津宮司が若布献上の旨を言上、賢所、天皇后両陛下に献上申し上げた。宮殿にて記

帳後、宮中三殿参拝の栄に俗し宮中での献上の儀を滞りなくおえた。  
宮中を辞した一行は赤坂御用地にて皇太子同妃両殿下、三笠宮殿下へ献上申し上げ、ここに宗像大社並びに宗像大社海洋神事奉賛会春の重儀「若布献上の儀」を無事に終えることができた。尚、本年も若布献上に際し、格別の御支援を賜りま



本殿で参拝する稚児等

「花まつり」は、桜・ツツジ・しゃくなげ等の花々が見ごろを迎える、三月末日、四月二十八日までの一ヶ月間、宗像観光協会主催により開催され、期間中の四月八日は、お釈迦様の生誕を祝う法会の「仏生会」にあたり、毎年この日に近い日曜日に稚児行列が行われている。当日は晴天に恵まれ、稚児装束を装った

去る四月三日、鎮国寺花まつりが行われた。  
鎮国寺は、大同元年(八〇六)大陸より帰朝された弘法大師空海が、北海道中の御加護に感謝の意を捧げるべく、先ず当大社を参拝された。その折、屏風山

近年は一年を通じ四季折々の花を楽しめる名所としても知られる。この「花まつり」は、桜・ツツジ・しゃくなげ等の花々が見ごろを迎える、三月末日、四月二十八日までの一ヶ月間、宗像観光協会主催により開催され、期間中の四月八日は、お釈迦様の生誕を祝う法会の「仏生会」にあたり、毎年この日に近い日曜日に稚児行列が行われている。当日は晴天に恵まれ、稚児装束を装った

# 鎮国寺「花まつり」 宗像大社から鎮国寺へ稚児行列



鎮国寺に向う稚児行列

子供達約一五〇名は午前十時、宗像大社本殿にてお祓いを受けた後、大社から鎮国寺まで稚児行列を行った。同寺では住職による法要や甘茶が振舞われ、子供達の健やかな成長を祈念した。

# 春季大祭 齋行

四月一・二日(金・土)両日に亘り春季大祭が齋行され、多くの氏子崇敬者で賑わいを見せた。

まず、三月三十一日午後五時より総社地主祭、同六時より宵宮祭をそれぞれ齋

行、一日からの大祭が無事に齋行される様、祈念された。心配された雨も祭典前には上がった一日午前十一時、

正服に威儀を正した葦津宮司以下神職、氏子奉幣使、鎮国寺住職、主基地方風俗

舞保存会員、浦安舞奉仕者、総代等が齋館前



齋館前から参進する祭員・参列員

に列立し、祓舎で身を清め本殿へと参進。

宮司が皇室の安泰、国家鎮護、五穀豊穰を祈念する祝詞を奏上、その後氏子会を代表し谷川安喜氏により奉幣詞が奏上された。次いで、



一日祭 宮司祝詞奏上



地元中学生による浦安舞

昭和天皇即位大嘗祭に由来する「主基地方風俗舞」が同保存会により奉納。更に十二単を身に纏った玄海、宗像両中学校の女子生徒により「浦安舞」が優雅に奉奏され、麗らかな神苑に悠遠な平安絵巻が繰り広げられた。翌二日は、午後

## 第45回 「宗像大社短歌大会」のご案内

◆日時 平成28年11月6日(日)

- 小中高生の部… 9:30~11:00
- 一般の部…12:00~15:40

◆会場 宗像大社「清明殿」(宗像市田島2331)

◆応募方法

- 詠草…小中高生は1人1首。一般は1人2首まで可(未発表のもの厳守)。B4の400字詰め原稿用紙の右半分に楷書で作品(固有名詞など難読語にはふりがなを)、左半分に郵便番号・住所(マンション名も)・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記のこと。小中高生は学校・学年も明記のこと。

- 出送料…1首1,000円(定額小為替:何も記入しないで下さい)・小中高生は無料。詠草集および大会資料を大会終了後にお送りしますので、送付用の切手82円×2枚を作品と同封して下さい。

- 締切日…一般=平成28年8月31日(水)(当日消印有効)  
小中高=平成28年9月 9日(金)(当日消印有効)

- 送り先…〒811-4175 宗像市田久5-25-17  
「宗像大社短歌大会」実行委員会事務局 宛  
【小】【中】【高】【一般】の別を朱書きのこと。  
※事務局の電話=090(8393)3299

- ◆選者 小中高生の部=桜川冴子 (敬称略・50音順)  
一般の部=青木昭子・大野英子・桜川冴子・野田光介  
※講演(一般の部)=有川知津子  
題目=「白秋の初期の詩法に学ぶ」

◆発表 平成28年11月6日(日) 大会当日

- ◆賞 小中高生の部=宗像市長賞、他  
一般の部=福岡県知事賞、他

◆主催 「宗像大社短歌大会」実行委員会

◆共催 毎日新聞社

- ◆後援 福岡県・福岡県教育委員会・宗像市・宗像市教育委員会・福津市・福津市教育委員会・宗像大社・宗像大社氏子会

※応募によって得られた個人情報は、本大会以外のことには利用しません。

十一時より二日祭を齋行。その後、高宮、第二宮、第三宮、宗像護国神社へと各神職が参進し、それぞれ春季大祭が齋行された。宗像護国神社祭では福岡県護国神社田村豊彦宮司をはじめ、宗像・福津両市の遺族が多数参列するなか、護国の英霊をお慰め申し上げると共に、氏子の幸福と恒久平和が祈念された。

祭典終了後の勅使館ではみあれ祭や、皇室への若布献上等、海洋神事における功労者に対し、当社より感謝状と記念品が贈呈された。また、同刻本殿に於いては宗像大社交通安全講話祭が齋行され、講員皆様の今年一年の交通安全が祈念された。



主基地方風俗舞

午後二時からは本殿に於いて南坊流花田社中による献茶祭が執り行われ、日頃から熱心に茶道の指導を受けている巫女の代表が御手を披露した。

これをもって三十一日の総社地主祭から始まる春季大祭は盛大裡に滞り無く終了した。



氏子奉幣使 谷川安喜氏

**氏子奉幣使**  
谷川 安喜 氏(福津市東福岡)

**【舞方】**  
清水 陽介  
森 勝紀  
松井徳一郎  
松井 実

**【歌方】**  
中野 正徳  
中野 久志  
吉田 光利  
深田 誠  
深田 鷹之

**浦安舞奉仕者**

谷川 凜 (玄海中学校二年生)  
森 美由紀  
吉積 麻衣  
中野いづみ (宗像中学校二年生)

**平成二十八年春季大祭感謝状贈呈者**

八尋 時雄 (宗像漁業協同組合鐘崎本所)  
宗岡 謙  
濱田 充 (同・神湊支所)  
永島 一清 (同・地島支所)  
吉岐 元彦 (同・地島支所)  
安部 暁昇 (同・津屋崎支所)  
永島 友宏 (同・津屋崎支所)  
赤間 勇哉 (同・福間支所)  
田畑 勝博 (同・福間支所)  
花田 孝幸 (同・福間支所)

# 氏子会評議員会

三月二十三日、今年度最後となる氏子会評議員

会が置鮎会長以下六十五名出席の下、開催した。

正式参拝の後、

清明殿にて開会、

置鮎会長を議長

に春季大祭・氏

子奉幣使の件、評議員・総

交代の件また役員改選の

件が審議された。特に役員

改選(会長・副会長・監事)

の件では、三年の任期を今

年度で終えるにあたり慎重

審議を頂いた。旧宗像地区・

旧玄海地区・旧福岡地区・

旧津屋崎地区・大島地区の

五地区で地区会長一名、監

事一名を選出、さらにその

なかより三役を協議頂き、

新役員が選定された。尚、

五月に行われる総代総会で



正式承認となる。

本年度、当大社の諸行事・祭典等にご奉仕頂きました役員・評

議員・総代の

皆様方には衷

心より御礼を

申し上げますと共に、引き

続きお力添えを頂きますよ

うお願い申し上げます。

## 選出された新役員

**会長**

置鮎玄一郎 (津屋崎地区)

**副会長**

瀧口 幸男 (河東地区)

松井 善徳 (田島地区)

沖西 敏明 (大島地区)

山本 清 (若木台地区)

**監事**

瀧口 和彦 (赤間西地区)

安部 賢 (神湊地区(新))

花田 和樹 (勝浦地区(新))

八尋 隆道 (上西郷地区(新))

# 神武天皇二千六百年式年祭遥拝式を斎行

第一代・神武天皇の二千六百年式年祭の儀が崩御日の四月三日、奈良県橿原市の畝傍山東北陵(神武天皇山陵)と皇居内の皇霊殿で執り行われ、畏くも天皇陛下には山陵の儀に出御せられ、御拝礼ののち御告文を奏せられた。

これに合わせ当大社でも午前十時、本殿西側に式場を設け、遥拝式を執行。官司が遥拝詞を奏上し、玉串を捧げ、建国の聖績を顕彰した。天皇・皇后両陛下には、「神武天皇二千六百年式

年祭の儀・山陵の儀」につき、併せて地方事情御視察のため、二日から四日にかけて奈良県に行幸啓。

山陵の儀ののち、同市の橿原神宮に御参拝遊ばされた。

皇二千六百年式



# 「宗像大社前駐在所」新装



当社に隣接する「宗像大社前駐在所」の建替え工事が終了し、三月三十日に海の道むなかた館にて落成式が行われ、駐在所の新たな歴史が幕を開けた。

新しい駐在所は当大社との景観の調和を考慮し、木目調で落ち着いた外観の木造平屋造り。築三十六年たつて老朽化が進んだため、昨年からは建て替えを進めていた。また、隣接する宗像市消防団第11分団の消防格納庫も併せて新しく建て替えられている。



を考慮し、木目調で落ち着いた外観の木造平屋造り。築三十六年たつて老朽化が進んだため、昨年からは建て替えを進めていた。また、隣接する宗像市消防団第11分団の消防格納庫も併せて新しく建て替えられている。

## 御造営奉賛者御芳名 (平成28年3月) (順不同・敬称略)

- |          |                  |               |          |     |       |          |     |        |        |       |      |         |     |        |      |       |     |         |     |        |         |      |         |      |          |      |           |      |       |         |         |     |         |      |         |         |       |       |         |          |      |       |          |      |         |         |         |         |     |         |             |           |           |         |         |       |                 |         |           |        |       |       |       |       |       |       |       |     |       |        |       |         |       |         |         |         |       |     |         |       |       |       |       |         |         |         |         |         |       |         |       |       |        |       |       |       |       |       |          |     |          |
|----------|------------------|---------------|----------|-----|-------|----------|-----|--------|--------|-------|------|---------|-----|--------|------|-------|-----|---------|-----|--------|---------|------|---------|------|----------|------|-----------|------|-------|---------|---------|-----|---------|------|---------|---------|-------|-------|---------|----------|------|-------|----------|------|---------|---------|---------|---------|-----|---------|-------------|-----------|-----------|---------|---------|-------|-----------------|---------|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|--------|-------|---------|-------|---------|---------|---------|-------|-----|---------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-----|----------|
| 五〇〇、〇〇〇円 | 港区 コンサルビューション(株) | 代表取締役社長 高原彦二郎 | 四〇〇、〇〇〇円 | 練馬区 | 角館 絃嗣 | 一〇〇、〇〇〇円 | 青森市 | 小笠原 恵子 | 田村 美奈子 | 和部 俊樹 | 占部 博 | 五〇、〇〇〇円 | 今治市 | 矢野 寿津枝 | 北九州市 | 川添 哲史 | 大分市 | 園 川 禮次郎 | 江東区 | 成 住 昌美 | 宗 像 善 樹 | 佐世保市 | 成 田 佑 天 | 佐世保市 | 木 村 由 香子 | 千代田区 | 新 海 暖 乃 美 | 名古屋市 | 日 立 市 | 黒 澤 純 一 | 居 城 新 正 | 福岡市 | 杉 内 智 史 | 富士見市 | 柴 藤 久 乃 | 伊 藤 和 貴 | 宗 像 市 | 八 重 子 | 向 山 貴 子 | 三〇〇、〇〇〇円 | 北九州市 | 平 道 子 | 三〇〇、〇〇〇円 | 北九州市 | 森 由 美 枝 | 清 水 和 枝 | 吉 川 正 男 | 池 谷 正 男 | 芦屋町 | 中 道 直 樹 | 西 山 千 賀 直 樹 | 三 木 重 修 治 | 福 井 重 修 治 | 櫻 井 賢 治 | 柴 村 雄 治 | 明 和 町 | WHAT A PARADISE | 三 浦 知 子 | 奥 田 美 恵 子 | 鈴木 幸 子 | 横 浜 市 | 横 浜 市 | 明 和 町 | 明 和 町 | 福 津 市 | 高 岡 市 | 杉 並 区 | 札幌市 | 芦 屋 町 | 二、〇〇〇円 | 浜 松 市 | 名 古 屋 市 | 豊 田 市 | 北 九 州 市 | 三 九 州 市 | 三 九 州 市 | 横 浜 市 | 港 区 | 富 士 見 市 | 福 岡 市 | 福 岡 市 | 日 立 市 | 日 立 市 | 名 古 屋 市 | 千 代 田 区 | 佐 世 保 市 | 佐 世 保 市 | さい たま 市 | 江 東 区 | 北 九 州 市 | 大 阪 市 | 今 治 市 | 五、〇〇〇円 | 茨 木 市 | 太 田 市 | 宗 像 市 | 青 森 市 | 練 馬 区 | 五〇〇、〇〇〇円 | 港 区 | 五〇〇、〇〇〇円 |
|----------|------------------|---------------|----------|-----|-------|----------|-----|--------|--------|-------|------|---------|-----|--------|------|-------|-----|---------|-----|--------|---------|------|---------|------|----------|------|-----------|------|-------|---------|---------|-----|---------|------|---------|---------|-------|-------|---------|----------|------|-------|----------|------|---------|---------|---------|---------|-----|---------|-------------|-----------|-----------|---------|---------|-------|-----------------|---------|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|--------|-------|---------|-------|---------|---------|---------|-------|-----|---------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-----|----------|

# 平成二十八年 春季奉納 剣道大会

四月三日、春季恒例の春季恒例の剣道大会が玄海中学校体育館にて行われ、小学生から中学生までの剣士たち約二〇〇名が日頃の練習の成果を競った。

午前九時の開会式には、参加者・審判員・父兄等多くの人々が体育館に集合し、大会に



先立ち当大社神職よりお祓いを受け、一同宗像大社を遙拝した。その後宗像居合道同好会有志による模範演技が披露され、緊張感のある演武者の佇まいに見学者も圧倒され、緊張の面持ちであった。

試合が始まると、日頃稽古で鍛えた成果を発揮しようと、声を張り上げて相手に挑む姿が、印象的であった。体こそまだ小さいものの、必死の形相でくらくらつく様子は一人前の剣士の姿であった。



### 試合結果(優勝)

#### 団体戦

#### 小学生

#### 中学生

#### 個人戦

#### 小学生

#### 中学生

#### 6年生

#### 5年生

#### 4年生

#### 3年生

#### 2年生

#### 1年生

#### 中学生

#### 男子

#### 女子

河東少年剣道教室  
城山中学校  
玄辰館道場

中家妃泉七(東郷)

西村 大地(日の里)

下川 晃毅(玄辰館)

豊田 健成(自由ヶ丘)

宮川 海流(宗像東部)

右田 良樹(玄辰館)

井出 涼雅(河東中)

山脇 美萌(城山中)

## 4月1日付で、巫女三名が新たに奉職致しましたので、ご紹介致します

### 新人紹介

①名前 ②生年月日 ③出身 ④経歴(学歴) ⑤特技(趣味) ⑥奉職理由 ⑦抱負



① 花田 智里

②平成8年2月5日(20歳)  
③福津市津屋崎  
④精華女子高等学校 香蘭女子短期大学  
⑤フラワーアレンジメント  
⑥子供の頃から宗像大社が身近な存在であり馴染み深く笑顔で場の空気を明るくできるような巫女になりたいと思ったから。  
⑦至らない点が多々あるかと思いますが、参拝者の方が気持ちよく参拝していただけるように、明るく丁寧に接し喜んで頂ける巫女になれるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



① 熊本 柚香

②平成9年9月8日(18歳)  
③遠賀郡水巻町  
④県立 折尾高等学校  
⑤中学では和太鼓をしていました。地元の成人式場で太鼓を披露しました。趣味は読書です。  
⑥日本文化の中心である神社に参拝している中で、巫女さんに憧れるようになったから。  
⑦笑顔忘れず、参拝される皆様が、穏やかな気持ちになっていただけるよう精一杯頑張ります。



① 正野崎 美希

②平成9年12月22日(18歳)  
③中間市  
④県立 折尾高等学校  
⑤お菓子作り。  
⑥巫女さんという参拝者を笑顔にできる場所に魅力を感じたから。  
⑦参拝者の方々にまた参拝したいと思って頂けるように、明るく笑顔で絶やさず奉仕します。

第六五七回

宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日メット



宗像市 宮田 山本 静子
「鳴弦の儀」あつ大社だ宗像だ新聞写真切りとりて貼る
宗像大社が大好きな作者の、浮き立つような発見。結句は「スクラップする」でも。

北九州市 八幡西区 豊田 光子
啓日を過ぐるも余寒去りやまず澄みたるダムの水底に見ゆ
啓日は啓蟄の当て字か。余寒と澄んだ水に季節感がある、下の句「ダム」の底いに澄む水の見えなどとしても。

宗像市 多禮 早川 祥三
ハグされて泣きだす吾子がこわごとと遠洋漁師は怪獣の髭
漁師の髭が印象的。三句まで語順を変え「こわごと」ハグされし子が泣きだせり。

福津市 若木台 山崎 公俊
いくたりも車椅子の人バス降りて歓声あげぬ雪の神苑
雪の神苑の美しさに歓声をあげる車椅子の人達。語順を「バス降りし車椅子の人らいくたりが」としては。

北九州市 門司区 北野カズミ
弥生入り三寒四温と日々過ぎぬうすむらさきに花大根咲く
繊細な季節感がある歌。旧暦の弥生は今の四〜五月で、三寒四温とは合わないので初句は「三月を」に。

宗像市 池田 森 龍子
籠りる吾にはあれど髪染めて春の朝の鏡を磨く
春にときめく作者が魅力的。下の句からみずみずしい、女性らしい感性が見える。

宗像市 自由ヶ丘 萩原 勉
迫り来るバイクの光ミラーに入り先に行けよと速度を落とす
夜道を運転中に遭遇したことを素直に詠んだ一首。結句を「ブレーキを踏む」としても。

宗像市 日の里 秋吉 喜範
埋もれし庭石掘りて撫村句碑文字に刻むは梅二輪の句
蕪村句碑を彫った作者。詞書により「庭石に彫りて二十」と五年過ぐ蕪村の詠みし梅二輪の句とした。

宮若市 宮田 本田エリナ
晴れ渡り福智の稜線くつきりと春の予感に染まる一日
春を待つ作者。一首の中に終止形がほしい、上句を「福智山の稜線くつきり晴れ渡る」と三句切れに。

宮若市 水原 吉崎美沙子
「お帰り」と教えるわれの指先にインコは下からまぶたを閉じる
眼の閉じ方に発見がある歌。「お帰り」と言葉を教えているので、言葉を入れたい。

福津市 中央 池浦千鶴子
わが生家このバス停の近くなり父母亡くば降りずに過ぎる
生家の傍を通るバスを降りずに通り過ぎる作者が哀しい。四句「父母在さねば」とも。

宗像市 田久 巻 桔梗
道にまで花鉢並むる花舗ありて街の散歩のコース決まりぬ
花舗の描写に色彩感と説得力がある。初句は助詞が音数合わせに見えるので「舗道まで」。

◆選者詠
えださきに樹液勢ひて噴きしごと
柚子につぼみの玉あまた付く
よき名つけ牡丹そだてる育種家の
愉悦おもへり「あまごろも」の紅

第六三〇回 俳句作品集

宗像市 多禮 早川 祥三
無意識の底に追われている野焼
宗像市 日の里 秋吉 嘉範
みのむしの古巢に添うて梅二輪

編集後記

「ありがとうござい
ます。」四月二十日、
益城町にて支援物資を配布した際に
けられた言葉が耳から離れない。想像
を絶する光景、地震により家は潰れ、
今後の生活の目途など全く立つはずの
ない人から、返された言葉。その時、「頑
張って下さい。」それ以上に返す言葉は
出てこなかった。同じ状況に立たされ
た時、同じ言葉が言えるのか：日本人
の精神性の高さを痛感するとともに、
この人達を助けたい：と心から感じ、
また、何も出来ない歯がゆさを痛感し
た。水、ティッシュ、一円の義捐金でも、
何でもいい。今、何かしたいという思い
を、形にして届けて欲しい。被災地には
その形をきちんと受け止めて、精一杯、
生きていく方がいました。(鈴)

5月祭事暦

- 1・15日 月次祭
午前10時～高宮祭、第二宮・第三宮祭
宗像護国神社祭(1日)
午前11時～総社祭
浦安舞奉奏(1日)
豊栄舞奉奏(15日)
5日 五月・浜宮祭
午前10時30分～
浜宮祭 於=宗像市神湊 浜宮
午前11時～
五月祭 於=宗像市江口 五月宮
27日 沖津宮現地大祭
午前7時 大島港 出港
於=沖ノ島・沖津宮

発行所 宗像大社社務所・宗像会

住所 千八十一三三〇五
福岡県宗像市田島三三三
電話 (〇九四〇六二一三三二)代
発行人 葦津幹之
編集人 大塚宗延・鈴木裕裕
制作・印刷 セネラルアサヒ

毎月1日発行
定価1年送料共 1,000円